

○財務省告示第五百二十二号	国債の発行等に関する省令（昭和五十七年大蔵省	令第三十号）第四条第三項の規定に基づき、平成十	五年七月二十二日に発行する利付国債の発行条件等	を次のとおり告示する。	平成十五年七月十八日	財務大臣 塩川 正十郎	一 名称及び記	利付国庫債券（十年）（第二百五	二 発行の根拠	財政法（昭和二十二年法律第三十	の法律及びそ	四号）第四条第一項及び平成十五	年度における公債の発行の特例に	関する法律（平成十五年法律第十	八号）第二条第一項並びに財政融	資資金特別会計法（昭和二十六年	法律第一百一号）第十一条第一項	社債等の振替に関する法律（平成	十三年法律第七十五号。以下「振	替法」という。）の規定の適用を受	けるものとし、その振替機関は日	本銀行とする。	国債の募集の取扱い及び引受け	を目的として組織される団体と	の間、国債の募集の取扱い及び	引受けに関する契約を締結する	方法による発行	額面金額で一兆九千億円	うち、財政法第四条第一項の規	に基づき発行する利付国債につ	ては、額面金額で千九百八十八億	二千六百万円、平成十五年度	における公債の発行の特例に基	る法律第二条第一項の規定に基づ	き発行する利付国債について、	額面金額で一兆五千五百二十六千
---------------	------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------	------------	-------------	---------	-----------------	---------	-----------------	--------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	-----------------	---------	----------------	----------------	----------------	----------------	---------	-------------	----------------	----------------	-----------------	---------------	----------------	-----------------	----------------	-----------------

六 払込金額
 七 最低額面金
 八 振替単位
 九 発行日
 十 募集価格
 十一 利率
 十二 経過利子の払込み

七百七十五万円、財政融資資金特別会計法第十一条の規定に基づき発行する利付国債について、は、額面金額で千五百九億六千五百一十八億八千八百八十五万円五万円、振替法の規定による振替口座簿の記載又は記録は、最低額面金額の整数倍の金額によるものとする。平成十五年七月二十二日額面金額百円につき九十九円四十九銭〇・九パーセントの国債募集引受団は、払込金額に加え、次の算式により算出した金額を第十九号の規定する期日に払い込むものとする。

$$\frac{\text{額面金額の総額} \times 0.9}{100} \times \frac{32}{365}$$

(二) 発行時において、その利に係る所得税が源泉徴収されるものとして振替口座簿中の口座に記載又は記録されるものについて、前記(一)の算式により算出した金額から当該金額に百分の二十を乗じた金額(ただし、当該国債を発行時において取得する者が非居住者又は外国法人である場合には、前記(一)の算式により算出した金額に当該非居住者又は外国法人が

十三 初期利子
 平成十五年十二月二十日を支払期とし、次の算式により算出した金額を支払う。ただし、支払期が銀行休業日に当たるときは、その翌営業日に支払う（以下、次号及び第十五号において規定する期日について同じ。）。

$$\frac{\text{額面金額} \times 0.9}{100} \times \frac{1}{2}$$

十四 第二期以後の利子
 毎年六月二十日及び十二月二十日を支払期とし、各支払期において、その日以前六月間に属する利子を支払う。
 平成二十五年六月二十日
 額面金額百円につき百円
 日本銀行
 平成十五年七月四日から平成十五年七月十五日まで
 平成十五年七月二十二日
 十九 払込期日
 十八 募集期間
 十七 払場所
 十六 償還金額
 十五 償還期限
 十四 第二期以後の利子

適用を受ける所得税の税率を乗じた金額）を控除することができる。